

図書館だより

1983. 7. 5

第5巻2号

通巻86号

Bulletin of the Hokkai Gakuen University Library



○ 図書館と私

.....当麻 庄司

○ 図書館利用あんない

○ 文献検索法 IV 産業編

○ 資料案内

○ 受入雑誌

○ 古典の窓

『資本論』が要請するもの

.....平岡 賢司

図書館と私

工学部教授 当麻 庄司

私は普段あまり図書館を利用したことがない。本来勉強を自
主的にやろうとする程優秀な学生ではなかった私には、図書館
はそれ程必要なものではなかった。しかし、そのような私にも
過去に二度図書館をよく利用した時期がある。一度目は大学受
験の頃、天王寺公園内にある図書館に、順番をとるために朝早
くから並んだことを思い出す。大阪の中心にあるこの公園には
いかさま商人がたむろしていて、通行人にインキ商品を売り
つけていた。私はそのうちすっかり彼らの手口が読めてきて、
変に感心したりした。あれからもう二十年にもなる。

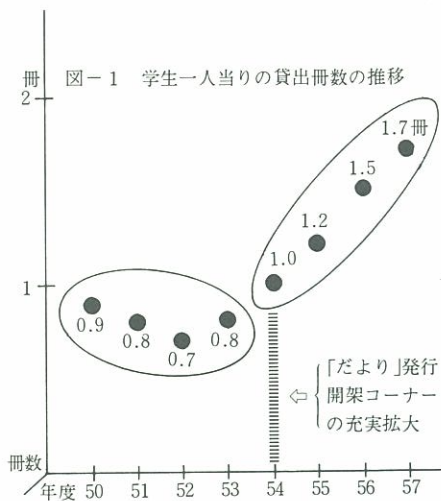
二度目は十年間の会社員生活を捨てて、アメリカの大学に
再び学生として戻った頃、期末試験になるとよく図書館に出か
けたものだった。アメリカの大学図書館は、学生へのサービ
スが最も優先される。期末試験期になると夜中まで、日曜日も開
館される。学生のパートタイマーを雇用して学生との共益を図
るアメリカの図書館のシステムは学ぶべきことが多い。しかし
この設備の整った図書館を羨しく思うにしても、両国の社会資
本の違いや学生の意識の違いに気づく時、ちよつとむなし気分
に陥ってしまう。

私が図書館とよくつき合った時期はいつも、私の人生の大き
な転機となった。

(とうま・しょうじ 工学部教授)

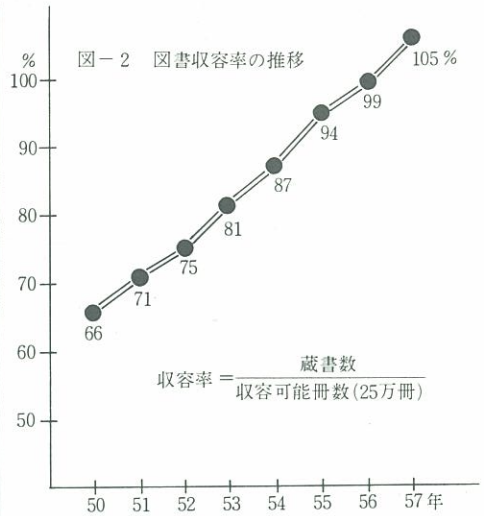
開館時間 本館 月～金曜日 9:30～20:00 土曜日 9:30～18:00
工学部分室 月～金曜日 9:30～17:00 土曜日 9:30～13:00

図書館利用あんない



**数字でみる
図書館の動き'82**

26万冊－蔵書数
14,620冊
－年間収書数
1.7冊－学生一人
当りの貸出冊数
105%－収容率



増加しつづける利用

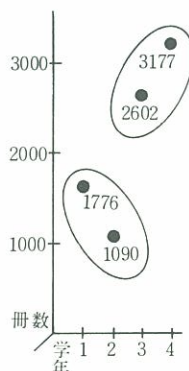
収容率はずいに飽和点

図書館利用の一つの指標として「学生一人当りの貸出冊数」があります。

昭和57年度でこれが過去最高の1.7冊となりました。昭和54年度とくらべると約2倍になり、利用は順調に伸びています。

特に要因としてあげられるのは、昭和54年度に「図書館だより」を発行したことと、「開架コーナー」を充実拡大したことでしょう。

又学年別では4年目が最上級生の面目を發揮して一番多い利用を記録しました。



一方、収書の面をみますと、書庫のつめぐあいを示す「収容率」はずいに昭和57年度で100%を越えたことにより「飽和点」に達しました。

これはあくまでも理論値で、実際は貸出等でしのでいるものの苦しい状態です。

単年度の増加冊数は14,620冊、うち和書が10,700冊、洋書が3,920冊でした。

分類別の収書傾向と貸出との相関ではほぼ対応した傾向にあるようです。

表-1 貸出冊数と学生数の推移

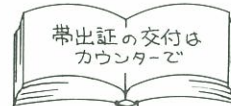
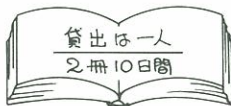
貸出冊数	年度	学生数
冊		人
5,615	50	6,388
5,097	51	6,569
4,571	52	6,510
5,147	53	6,592
7,144	54	6,884
8,099	55	6,806
10,298	56	6,913
11,427	57	6,676

表-2 分類別・貸出及び収書統計(学生)

貸出比	分類	収書比
冊 %		冊 %
493 4.3	総記	897 5.9
615 5.4	哲学	552 3.8
531 4.6	歴史	900 6.2
4,934 43.2	社会科学	6,218 42.5
408 3.6	自然科学	978 6.7
2,119 18.5	工学	2,273 15.6
287 2.5	産業	1,191 8.2
287 2.5	芸術・スポーツ	501 3.4
185 1.6	語学	405 2.8
620 5.4	文学	745 5.1
633 5.5	雑誌	— —
11,427 100	計	14,620 100

表-3 蔵書数と増加冊数の推移

蔵書数	年度	増加冊数
冊		冊
165,729	50	—
176,755	51	11,026
187,556	52	10,801
202,086	53	14,529
218,185	54	16,000
235,060	55	17,160
248,200	56	13,140
262,820	57	14,620



目録カードの使い方

—目録カードの助けを借りよう—



図書館の本を上手に、効果的に利用するためには目録カードの見方を会得することが基本的な要件といえましょう。

本学では、図書のカード目録として、

1. 著者からのアプローチとして、著者名目録
2. 主題からのアプローチとして、分類目録と件名目録の3種類が2階ホールに備付けられています。以下簡単にこの目録の使い方を説明します。

1. 著者名目録

著者名がわかっている図書は、この目録で調べます。和書は著者の姓名のABC順に、洋書は姓の原綴からひきます。

例：マックス・ウエバー → Weber, Max

著者カード	
331.33 W 51	Weber, Max 農業労働制度 <u>M ウェーバー</u> 著 山口 和男 訳 未来社 昭54(1979) 133p 19cm (社会科学セミナー 24)

2. 分類目録

読みたい分野の図書を探すときや、特定主題についての図書にはどんなものがあるかを調べる際には、この目録を使います。主題の分類番号を探すとき(日本十進分類法)がカウンターに備付けられていますので係員におたずね下さい。

排列は分類番号順です。

分類カード	
519.01 G 55	衛生工学 合田 健 [等] 著 新訂版 彰国社 昭52(1977) 369p 22cm (わかり易い土木講座 15)
1...	

3. 件名目録

分類目録は、主題の番号を調べるのに「十進分類法」を見なければなりません。しかし件名目録では頭に浮んだ主題を「コトバ」で一応探すことができます。例：茶道について書かれているものを調べたいときには「Chadô」といった「コトバ」のABC順に排列していますので大変簡単に文献を調べることができ便利な目録です。なお詳細は係員に。

件名カード	
791 Ku 98	Chadô 茶道 茶の心 - 茶道名言集 - 桑田 忠親 著 東京堂 昭45(1970) 238p 19cm

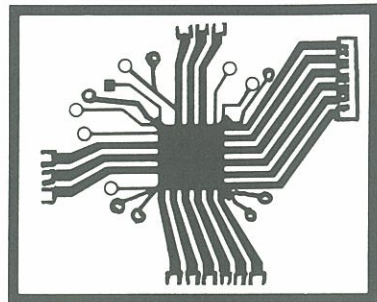
図書館をあなたのものに

—利用者のために—

産業情報の調べ方

シリーズ

文献検索法Ⅳ 産業編



■現代日本産業の現状と将来について調べよう！

日本経済は1960年代に重化学工業化推進を、その産業政策の旗印にして、その産業構造を高度化させることに成功してきました。また、1970年代に入ると、日本産業の輸出における内容は、一般機械、電気機械、輸送機械、精密機械等を中心とした、より付加価値の高い加工・組立産業のウエイトが急上昇し、急速に高度加工型あるいは知識集約型へと、その産業構造を変化させてきました。ここでは、現代の日本産業の構造とその変化を理解する上で重要と思われるいくつかの資料を紹介いたしますので、学習・研究上、ご参考になれば幸いです。

■2日本産業の高度成長の秘密を探るための資料は？

敗戦による徹底的な破壊から復興し、急速な生産力の拡張のためには、自己資本のみに頼ることができず、他人資本、とくに金融機関からの借入金に依存せざるをえませんでした。この日本企業の負債への依存度が決定的に大きいことが、以後、日本経済の特異な体質を生み出す根拠の一つになっているとも言えます。この辺の日本企業の借金経営の実情については、日本銀行統計局「日本経済を中心とした国際比較統計」〔^{330.59}_{N77}〕所載の表、「各国企業（製造業総合）の業態比較」をみると、主要各国別の負債資本と固定資産・資本の比率が、累年毎に対比されているところから、日本企業の借金経営からくる台所の苦しさを読みとれます。

■3日本の金融機関の強力な融資力の発生源について調べるための資料は？

日本の金融機関は、一般個人預金を集約して企

業に貸し出します。日本の金融機関の一般個人預金の収集力を国際的比較によって測るには、やはり、前掲の日本銀行「日本経済を中心とした国際比較統計」所載の表「各国の貯蓄性向」をみると、主要各国別、累年毎に、指数が載っていますので、日本人の貯蓄性向の高さを読みとることができま

■4日本国民の高い貯蓄性向を生み出した要因をさぐるための資料は？

貯蓄増強中央委員会「貯蓄に関する世論調査」〔P〕をみると、国民が貯蓄をする動機が、「老後の生活のため」や「土地家屋の新増改築修理のため」で、これらの回答の意味するところは、日本の社会保障の水準が低いこと、あるいは高額な土地家屋取得のため、かなりの貯蓄をせざるをえない、という国民生活の実態が浮き彫りにされてきます。この他、健康保険組合連合会編、社会保障年鑑〔^{364.059}_{Sh12}〕、国民生活センター編、国民生活統計年報〔³⁶⁵_{Ko48}〕、経済企画庁「国民生活白書」〔^{365.021}_{Ke29}〕厚生省「厚生白書」〔^{364.3}_{Ko338}〕などの資料によって、日本の社会保障の現状と国民生活の実態を理解することが、より一層、“高い貯蓄性向”を生み出す経済・社会的要因をとらえることにつながります。

また、重い住宅負担については、総理府統計局編、「住宅統計調査報告」〔^{365.3}_{S055}〕によって住宅状況を把握することができるでしょう。

■5日本産業は、なぜ、今、貿易摩擦に遭遇したのかについて調べるには

通産省「通商白書（総論）」〔^{678.91}_{Ts91}〕の第2章、日本の貿易と産業構造」の中で、輸出の果たす役割について、また、戦後のわが国産業構造の重化学工業化と高度成長を実現する経緯について、さら

に、今日の貿易摩擦問題に至るまでの日本の貿易産業構造の検討を行っております。第3章では、「貿易摩擦問題の現状と今後の方向」として、「世界的な景気停滞下で生じている我が国と欧米諸国との貿易摩擦問題の現状とその背景を概観し、貿易摩擦問題の解決に向けて我が国が講じてきた措置に触れるとともに今後の方向について展望する。」とあります。

また、「通商白書(各論)」〔^{678,91}_{Ts91}〕では、重化学工業品の品目別の全生産量に占める輸出の割合＝"輸出度"(貿易摩擦度?)が示されています。また、前掲の日銀「日本経済を中心とする国際比較統計」には、一貿易依存度と貿易額—についての表が載っており、先進主要国1955年以降の5年毎の"輸出・輸入依存度"の推移と1978～80年平均の輸出・輸入額が示されており、ここからも、"貿易摩擦度"が測れそうです。

その他、貿易摩擦に関する指標となりうる情報が載っている資料としては、先進国の失業率の推移、GATT第19条に基づくセーフガード(特定品目の輸入急増による国内の重大な損害を防ぐための緊急避難として認められた貿易制限的措置)発動件数、最近の世界の保護主義的な通商面での動向、アメリカのアンチ・ダンピング法等の発動件数、我が国の主要な貿易摩擦の推移、アメリカ産業への輸入浸透率、関税負担率の国際比較、我が国の市場開放への対応等—について、前掲、通産省「通商白書(総論)」があります。また、我が国の対米・対EC経営収支の推移については、日本銀行「国際収支統計月報」〔P〕、アメリカの国際収支の1960年以降の悪化過程をみるには、日本銀行「外国経済統計年報」〔P〕、アメリカの対日貿易収支赤字の要因推計は、経済企画庁「国民経済計算年報」〔^{331,8}_{Ke29}〕に載っています。また、大蔵省「通関統計」〔P〕には、対米、対EC主要輸出品目の推移があり、大蔵省「財政金融統計月報」〔P〕には、関税負担率の推移、関税負担率の比較があります。

〔6〕日本の成長産業について調べるには?

各産業別の"出荷率"の推移を調べることで、その産業の"成長度"を測り、将来の成長率も予測できます。通産省「通産統計」〔P〕所載、

製造業業種別出荷指数と出荷構成比の推移の統計をみると、重工業、化学工業、軽工業等、製造業の各業種別の出荷指数とその構成比の推移があるので、日本産業の業種別の、成長産業であるか、停滞産業であるかどうか、その栄枯盛衰が手にとるようにわかります。また、同資料の機械工業業種別出荷指数表をみると、成長業種のなかにも停滞品種があり、停滞品種のなかにも成長品種があることがわかります。

〔7〕成長産業の今後を占う指標は?

成長産業の新製品開発のための科学・技術研究費が、総売上高に占める割合で、その産業の今後の伸展度を占うことができます。"研究集約性"、つまり、新製品開発にかかる費用の比率から、その産業の将来を予測できます。この指標を調べるには、総理府「科学技術研究調査報告」〔^{377,07}_{So55}〕を御覧下さい。

〔8〕日本の産業内高度化・高付加価値化はどこまで進んだか?

高度化とは、国民ニーズに対応してよりコンパクトで信頼性の高い部品へと製造製品が転換していくことを示し、また、高付加価値化とは、産業平均の従業員一人当たり付加価値額(労働生産性)が向上することを示します。各産業分野における、高度化・高付加価値化の実態をみると、電気機械産業における産業内高度化、エレクトロニクス産業における産業内高度化、高付加価値化については、通産省「工業統計表」〔^{505,9}_{Ko26}〕、工作機械のNC(数値制御)化率及びNC工作機械の出荷額推移については、通産省「機械統計年報」〔P〕、繊維産業における産業内高度化については、通産省「繊維統計年報」〔P〕があります。その他の主要産業についても、通産省で刊行している統計年報類の中でとりあげられていますので、詳しくお知りになりたい方は、カウンターまでおいで下さい。

※尚、文中の〔 〕内の数字は、当館の分類番号で、〔P〕は雑誌ですので、上掲資料の参照御請求の方は、当紙か、この番号を提示して下さい。

(酒井 哲哉 さかい・てつや 閲覧係)

資料案内

(昭和58年4月～6月の受入整理された図書)
(うち主なものを選択して掲載してあります。)

◆教養関係◆

- まちの図書館—北海道のある自治体の実践— 図書館問題
研究会編著 日本図書館協会 1981 016.211 To72
- 西洋哲学史 原佑〔等〕著 第3版 東大出版会 1974
130 H31
- ドイツ哲学と政治—ナチズムの思想的淵源— J. デューイ
著 足立幸男訳 木鐸社 1977 134 D67
- 希望の原理1～3 E.プロッホ著 山下肇〔等〕訳 白水社
1982 134.9 B58
- 行動学入門—生物科学としての心理学 D.O.ヘップ著 白
井常〔等〕訳 紀伊国屋 1975 140.18 H51
- 行動科学の基礎戦略 L.D.シムキンス著 本田令吉訳 千
倉書房 1973 140.18 Si5
- 東南アジア現代史—民俗自立への模索— 滝川勉〔等〕著
有斐閣 1982 (有斐閣選書) 223 Ta71
- 中世における個人と社会 W.ウルマン著 鈴木利章訳 京
都 ミネルヴァ 1970 230.4 U61
- 身分制議会の起源と発展 O.ヒンツェ著 成瀬治訳 創文
社 1975 (創文社歴史学叢書) 234.04 H61
- 黙移—明治・大正文学史回想— 相馬黒光著 法政大学出
版局 1961 (教養選書44) 289.1 So36
- アトラス現代世界 旺文社 1982 290.38 A94
- ファシズム—その比較研究のために— 山口定著 有斐閣
1979 (有斐閣選書) 311.9 Y24
- 財産法入門 中川善之助〔等〕著 一粒社 1970
324.2 N32
- 保守と革新の日本的構造 伊東光晴著 筑摩書房 1970
330.4 I89
- 地域分権の思想 玉野井芳郎著 東洋経済新報社 1977
(東経選書) 330.4 Ta78
- 価値論の新地平 永谷清著 東京 有斐閣 1981
331.52 N23
- ドイツ産業革命 H.モテック著 大島隆雄訳 未来社
1968 (社会科学ゼミナール43) 332.34 Mo95
- アメリカ大衆社会論研究 村井忠政著 東京 杉山書店
1981 361.4 Mu41
- 近代人の形成—近代社会観成立史— 水田洋著 御茶の水
書房 1954 363 Mi97
- 道徳教育原論 唐澤富太郎著 協同出版 1978
371.6 Ka62
- 教育実習ノート 吉田昇 土屋忠雄編著 改訂 学文社
1975 374.37 Y86
- 生涯教育の原理と心理 佐々木隆介〔等〕著 開拓社 1978
379 Sa75
- ドイツ民俗紀行 坂井洲二著 法政大学出版会 1982 (教
養選書46) 382.34 Sa29
- 新教養数学 青柳雅計著 開成出版 1980 410.1 A57
- 教養基礎数学 高橋健人著 培風館 1968 410.1 Ta33
- 行動科学者のための基礎数学 矢野健太郎 茂木勇著 裳
華房 1980 410.8 Y58
- 線型代数入門 斎藤正彦著 東大出版会 1966 (基礎数学
1) 412.3 Sa25
- 解析学序説 上, 下 一松信著 新版 裳華房 1981-1982
(初版1962) 413.1 H77
- 大学教科解析学概説 竹之内脩 共立出版 1976
413.1 Ta64
- 微分積分学入門 一松信著 サイエンス社 1971 (サイエ
ンスライブラリ数学6) 413.3 H77
- 物理学 小出昭一郎著 裳華房 1975 420.1 Ko29
- 大学課程力学概論 松本政彦著 共立出版 1981
423.01 Ma81
- 大学課程力学演習 若桑光雄著 培風館 1959
423.01 W19
- 化学綜説 林太郎著 新版 裳華房 1973 430.1 H48
- 新しい化学—生活環境と化学物質— L.T.プライド著 岡
本剛訳 培風館 1976 430.1 P95
- 化学エネルギー L.E.ストロング W.J.ストラットン著
関集三 崎山稔訳 共立出版 1966 431.6 St8
- 氷河への旅 樋口敬二著 新潮社 1982 (新潮選書)
452.96 H56
- 七つの大地震—現地レポート— 守屋喜久夫著 新潮社
1982 (新潮選書) 453.2 Mo72
- 現代の生態学 山岸宏著 新版 講談社サイエンティフィ

- ック 1973 468 Y23
- 現代植物学 佐藤重平〔等〕著 裳華房 1965 471 O67
- 現代動物学 石田寿老〔等〕著 裳華房 1972 480.1 I72
- 成熟社会のサービス産業—サービス経済化時代の日本経済— 鶴田俊正編 有斐閣 1982 (有斐閣選書) 670 Ts87
- ユニークな美術館めぐり 朝日新聞社編 新潮社 1982 (新潮選書) 706.9 A82
- ガラスの美—アール・ヌーヴォーから現代へ— 倉田公裕 竹沢雄三著 札幌 北海道新聞社 1982 (ミュージアム新書2) 751.5 Ku56
- 文章作法の基礎—句読点から文章構成まで— 大類雅敏著 一光社 1980 816 O71
- 一葉文学成立の背景 木村真佐幸著 桜楓社 1976 910.28 Ki39
- 戦後短歌の光源—現代歌人論— 菱川善夫著 桜楓社 1974 911.162 H76
- 現代歌人論 上田三四二著 読売新聞社 1969 (読売選書4) 911.162 U32
- 現代日本のエッセイ 毎日新聞社 1972 人間であること (谷川徹三著) 914.6 G34
- アイヌ文学の生活誌 更科源蔵著 日本放送出版協会 1973 (NHKブックス177) 919.9 Sa69
- ◆ 経 済 関 係 ◆
- 戦争と知識人—ルネッサンスから現代へ— M.ハワード著 奥村房夫〔等〕訳 原書房 1982 319.8 H96
- 新しい経済学—経済学の現代的課題— 内田忠夫編 有斐閣 1972 (有斐閣選書) 331.01 U14
- 経済学史 久留間鮫造 玉野井芳郎著 岩波 1977 (岩波全書197) 331.2 Ku79
- フランス語版資本論上, 下 K.マルクス著 江夏美千穂 上杉聰彦訳 法政大学出版会 1979 (経済学古典選書2) 331.34 Ma59
- 計量経済学の方法 J.ジョンストン著 竹内啓〔等〕訳 全訂版 東洋経済新報社 1975 331.39 J65
- 価格の理論 R.ドーフマン著 根岸隆訳 安井琢磨 熊谷尚夫監修 東洋経済新報社 1965 (現代経済学叢書) 331.53 D87
- 国民経済計算 倉林義正 作間逸雄著 東洋経済新報社 1980 (経済学入門叢書5) 331.8 Ku51
- 世界大不況の教訓 H.W.アレント著 小沢健二〔等〕訳 馬場宏二解題 東洋経済新報社 1978 332.3 A79
- 西洋経済史 松田智雄編 青林書院新社 1982 332.3 Ma74
- 経済政策論を学ぶ 清水嘉治 松原昭編 有斐閣 1979 (有斐閣選書) 333.01 Sh49
- 現代資本主義分析9 置塩信雄〔等〕編 岩波 1981 現代資本主義と国際通貨 (深町郁彌著) 333.9 G34
- 資本主義と不況—戦後日本の景気循環— 鈴木喜久夫 公文博 上山邦雄著 有斐閣 1982 (有斐閣選書) 333.9 Su96
- 帝国主義の研究—講座—2—両大戦間におけるその再編成— 宇野弘蔵監修 青木書店 1975 世界経済 (加藤栄一〔等〕著) 333.9 Te24
- 入門経営学叢書8 中村常次郎 森五郎監修 法学書院 1976 8. 労務管理 (森五郎編) 335.08 N99
- 日本経営学史—規範学説の研究— B.プギル著 白桃書房 1972 335.12 B64
- 社会的責任と企業構造 村木隆英著 千倉書房 1979 (千倉経営学研究叢書3) 335.19 Ts39
- 現代帝国主義と企業—資本主義企業の生成・発展・消滅— 角谷登志雄著 汐文社 1973 335.3 Su67
- ドイツ企業管理論 今野登著 千倉書房 1978 (千倉経営学研究叢書2) 335.9 Ko75
- バーナード理論の経営学 河野大機著 千倉書房 1980 (千倉経営学研究叢書4) 335.9 Ko76
- 管理会計論序説 松尾憲橋著 森山書店 1967 335.96 Ma85
- 管理会計講義 溝口一雄編 青林書院新社 1972 (青林講義シリーズ) 335.96 Mi93
- 財務管理論—経営学要説— 水越潔編 増訂版 法学書院 1982 335.96 Mi95
- 管理会計 山邊六郎著 千倉書房 1981 335.96 Y18
- 金融論を学ぶ 川合一郎著 有斐閣 1976 (有斐閣選書) 338.01 Ka93
- 世界の金融市場—パラレル・マネーマーケット— P.アインチヒ著 東京銀行調査部訳 文雅堂銀行研究社 1974 338.1 E39
- 株式会社金融論 馬場克三著 改訂増補版 森山書店 1978 338.66 B12
- 現代地方財政論 吉岡健次 和田八東編 有斐閣 1982

(有斐閣双書入門基礎知識編) 349.1 Y92

統計学 内海庫一郎 木村太郎 三浦信邦編 改訂版 有斐閣 1976 (有斐閣双書基本テキスト) 350.1 U96

社会統計学の基本問題—現代統計学批判— 内海庫一郎著 札幌 北大図書刊行会 1975 361.8 U96

現代日本労働問題 隅谷三喜男編著 東大出版会 1979 366.2 Su67

賃金の経営学 田島司郎 江口伝 佐護馨著 京都 ミネルヴァ 1981 366.43 Ta93

労資共同決定の経営学 村田和彦著 千倉書房 1978 (千倉経営学研究叢書1) 366.64 Mu59

現代日本の鉄鋼企業労働 石田和夫編著 京都 ミネルヴァ 1981 564.09 I72

現代日本産業論 狭間源三 木村敏男編 新版 法律文化社 1979 602.1 H49

商業史 石坂昭雄〔等〕著 有斐閣 1980 (有斐閣双書入門基礎知識編) 672 I84

概説商品学 河村正義〔等〕著 改訂版 建帛社 1981 674.1 Ka95

商品学講義 島田記史雄 飯島義郎編 改訂 青林書院新社 1981 (青林講義シリーズ) 674.1 Sh36

現代の流通経済 橋本勲 阿部真也編 有斐閣 1978 (有斐閣選書) 675.01 H38

森下二次也先生還暦記念〔論文集〕 鈴木武 田村正紀編 有斐閣 1974 現代流通論の論理と展開 675.01 Mo65

現代マーケティング論—市場創造の論理と分析— 村田昭治編 有斐閣 1973 (有斐閣大学双書) 675.01 Mu59

証券市場読本 中村孝俊著 改訂版 東洋経済新報社 1982 676.3 N37

財務会計論 新井清光著 中央経済社 1982 679.01 A62

財務会計論 飯野利夫著 同文館 1977 679.01 I27

現代商業簿記 井上達雄著 中央経済社 1982 679.6 I57

新例解会計簿記精義 井上達雄著 白桃書房 1982 679.6 I57

原価計算新稿 青木茂男著 中央経済社 1962 679.7 A53

原価計算 岡本清著 3訂版 国元書房 1980 679.7 O42

税務会計入門 長谷川忠一著 同文館 1982 679.8 H36

会計監査 久保田音二郎著 同文館 1978 679.9 Ku14

最新監査論 高田正淳著 中央経済社 1979 (最新会計学講座) 679.9 Ta28

◆ 法 学 関 係 ◆

ヨーロッパの形成—中世史の基本的諸問題— H.ヘルビック著 石川武 成瀬治訳 岩波 1970 230.4 H51

現代政治学4 福村出版 1972 政治体系と官僚制 (F.ヘッディ著 中村陽一訳) 310.8 G34

現代政治学 池田誠〔等〕著 法律文化社 1977 311.1 I32

アメリカ保守主義の復権 中野秀一郎著 有斐閣 1982 312.53 N39

アメリカ政治外交史 斉藤真著 東大出版会 1975 312.53 Sa25

情報公開—各国制度のしくみと理論— 平松毅著 有斐閣 1983 313.19 H65

知る権利 奥平康弘著 岩波 1979 313.19 O54

戦後日本の政党と内閣—時事世論調査による分析— 時事通信社編 (同編者) 1981 315.1 J49

戦前期日本官僚制の制度・組織・人事 戦前期官僚制研究会編 秦郁彦著 東京大学出版会 1981 317.3 Se75

住民運動の論理—運動の展開過程・課題と展望— 松原治郎 似田貝香門編著 学陽書房 1976 318 Ma73

地方議会用語辞典 中島正郎 石山一男編著 ぎょうせい 1976 318.03 C43

地方の時代の地方自治—講座1~3 学陽書房 1980
 1. 地方自治の変動と対応 (佐藤笠編著)
 2. 地域の復権 (松原治郎編著)
 3. 都市政策の視点 (川上秀光編著) 318.08 C43

変貌する国際社会—これからの国際人の条件— 花見忠編 有斐閣 1982 (有斐閣選書) 319 H27

精神的自由権 憲法理論研究会編 有斐閣 1982 323.01 Ke51

憲法1~4 阿部昭哉 池田政章編 有斐閣 1975 (有斐閣双書入門基礎知識編) 1. 総論 2. 基本的人権1 3. 基本的人権2 4. 統治機構 323.08 Ke51

民法概説1 甲斐道太郎 乾昭三 椿寿夫編 新版 有斐閣 1982 (有斐閣双書入門基礎知識編) 324.08 Mi47

- 民事判決書集 法曹会編 東京 法曹会 1981
324.098 H94
- 道路・隣地通行の法律紛争—私道と公道の円満利用法—
沢井裕 出水順 東島敏明著 有斐閣 1982 (有斐閣選
書) 324.23 Sa94
- 家族—政策と法—3 福島正夫編 東大出版会 1977
戦後日本家族の動向 324.6 Ka99
- 農家と後継者を守る法律—相続・家族協定・農業者年金—
宮崎俊行著 全国農業会議所 1981 324.7 Mi88
- ワークブック商法—質問と解答— 服部栄三 蓮井良憲編
新版 有斐閣 1982 (有斐閣選書) 325.1 H44
- 会社法読本 田村諄之輔 戸塚登編 有斐閣 1983 (有斐
閣選書) 325.2 Ta82
- 会社法1 上柳克郎〔等〕編 有斐閣 1982 (有斐閣双書入
門基礎知識編) 325.2 U51
- 概説日本海上運送契約—紛争の予防と解決のために— E.
R.H.アイヴァミ著 日本海運集会所訳 (同訳者) 1982
325.53 I91
- 英国海上運送判例選集 E.R.H.アイヴァミ著 日本海運集
会所訳編 (同編者) 1979 325.53 I91
- 対訳定期傭船契約書式集 日本海運集会所 1982
325.532 Ta25
- 白地手形法論—その法律的構成と基本問題— 長谷川雄一
著 商事法務研究会 1975 325.61 A36
- 手形法理の基本問題—二元的構成による手形法論— 長谷
川雄一著 成文堂 1976 325.61 H36
- 手形法・小切手法 石井照久著 新版 (補正版) 弘文堂
1963 (法律学講座双書) 325.61 I75
- 手形小切手法 並木俊守著 新訂 大成出版社 1978
325.61 N47
- 現代手形法・小切手法 大賀祥充著 成文堂 1981
325.61 O21
- 手形法・小切手法講義 大森忠夫著 新版 三和書房
1974 325.61 O63
- 商法講義—手形・小切手— 鴻常夫〔等〕編 青林書院新社
1982 (青林講義シリーズ) 325.61 O86
- 手形・小切手法 田中誠二著 新版 (3全訂版) 千倉書
房 1969 325.61 Ta84
- 注釈刑法1～6, 別巻, 補巻1, 2 団藤重光編 有斐閣
1965～1976 326.01 C67
- 東西ドイツの罪と罰—新聞記者のみたヨーロッパの司法—
野村二郎著 有斐閣 1982 (有斐閣選書) 327.04 N95
- 民事裁判における証明責任 村上博巳著 判例タイムズ社
1970 327.19 Mu43
- 条解民事執行規則 最高裁判所事務総局編 法曹会 1980
327.3 Sa21
- スモン事件と法 淡路剛久著 有斐閣 1981
327.8 A97
- 著作権のノウハウ 半田正夫 紋谷暢男編 有斐閣 1982
(有斐閣選書ビジネス法務シリーズ) 328.2 H29
- 国際法講義—現状分析と新時代への展望— 波多野里望
小川芳彦編 有斐閣 1982 329.01 H42
- 国際動産売買法に関する研究 山田恒夫著 文久書林
1982 329.62 Y19
- 独占禁止法入門 実方謙二著 青林書院新社 1981 (法学
入門講座) 335.27 Sa62
- コミュニティと住民組織 高寄昇三著 勤草書房 1979
361.48 Ta57
- 社会民主主義の動向—福祉国家と労働者階級— R.スケー
ス著 萩野浩基監訳 早大出版会 1979 (政治理論叢書)
363.4 Sc1
- 日本人の注意すべき支那交際の習慣 中日文化協会
1929 (満蒙パンフレット1) 382.22 N77
- 支那女性生活史 陳東原著 村田孜郎訳 大東出版 1941
384.6 C46

◆ 工 学 関 係 ◆

- 地図の風景18冊 (北海道～九州) 堀淳一 山口恵一郎
籠瀬良明著 そしえて 1980～1981 (そしえて文庫81～
98) 291.08 H87
- 化学の基礎 西野忠著 共立出版 1982 430.1 N85
- 構造解析学1 小松定夫著 丸善 1982 501.34 Ko61
- QC七つ道具—やさしいQC手法演習— 細谷克也著 日
科技連 1982 509.6 H95
- アスファルト舗装入門 北海道土木技術会舗装研究委員会
編 札幌 北海道舗装事業協会 1981 514.4 H82
- 河川工学 篠原謹爾著 共立出版 1980 (大学講座土木工
学13) 517.01 Sh67
- 砂防入門—土砂災害を防ぐために— 池谷浩著 山海堂
1974 517.5 I35
- 住宅団地への親水施設導入手法の研究 住宅・都市整備公
団建築部編 (同編者) 1982 519.12 J98
- 水質汚濁の生態学 津田松苗著 公害対策技術同友会
1972 519.24 Ts34

- 物理化学処理による高度処理方式の開発実験 住宅・都市整備公団建築部建築技術開発室住宅都市整備公団住宅都市研究試験所編 (同編者) 1982 519.25 J98
- 高層建築物における周辺気流の影響とその対策に関する開発研究 2, 3 住宅・都市整備公団建築部建築技術開発室編 (同編者) 1981 520.1 J98
- 戦後建築論ノート 布野修司著 相模書房 1981 (相模選書) 520.4 F89
- 物理学 One Point 19, 20 共立出版 1982
19. 放射の物理 (和田正信著)
20. 物理が好きになる本 (勝木渥著) 420.8 B97
- DA (Drawings of Architecture) 建築図集 日本建築家協会編 彰国社 1981
住宅2 木造の小住宅 520.8 D91
- 現代の建築家 安藤忠雄 Space Design 編 鹿島出版会 1982 520.8 G34
- 建物を描く—建築スケッチへのアプローチ— 佐々木清著 藤田書店 1982 520.8 Sa75
- 日本の空間構造 吉村卓司著 鹿島出版会 1982 (SD選書173) 521 Y91
- 建築計画 鈴木成文〔等〕著 実教出版 1975 525.1 Su96
- 建築工事施工管理指針 昭和56年上, 下 建設大臣官房官庁営繕部監修 営繕協会 1982 525.3 Ke51
- 談合問題への視点 内山尚三著 都市文化社 1982 525.4 U25
- 老人のための居住空間—一般住宅と老人ホームの設計— イギリス政府編 湯川利和 相島裕子訳 学芸出版 1981 527.1 I24
- 日除けによる窓日射透過率の補正係数表 建築省エネルギー特別委員会編 建設省エネルギー機構 1980 528.4 Ke41
- 世界の宇宙開発 Salamander Books Limited 編 旺文社 1982 538.9 Sa53
- 鉄鋼便覧 5, 6 日本鉄鋼協会編 第3版 丸善 1982
5. 鑄造～鍛造～粉末冶金
6. 二次加工～表面処理～熱処理～溶接 564.03 Te31
- 新石油事典 石油学会編 朝倉書店 1982 568 Sh69
- 談話室の造園学 上原敬二著 技報堂 1979 629 U36
- 日本の住宅造園 建築資料研究社 建築思潮研究所編 岡崎文彬監修 建築資料研究社 1976 629.2 Ke41
- ヨーロッパの名園 岡崎文彬著 建築思潮研究所 山本直人編 (同編者) 1976 629.2 O48
- 境界要素法—基礎と応用— 田中正隆 田中喜久昭著 鷺津久一郎監修 丸善 1978 421.46 Ta84
- 現場技術者のためのやさしい地質学 陶山国男 羽田忍著 築地書館 1978 450.1 Su89
- 防災地形—災害危険度の判定と防災の手段— 水谷武司著 今古書院 1982 454 Mi97
- 不規則振動解析 多谷虎男著 学会出版センター 1981 501.24 Ta98
- 構造実験指導書 土木学会編 (同編者) 1970 501.34 D81
- 技術論文の書き方 T.G.Hicks 著 塩崎進 宮川松男訳 近代科学社 1960 507 H54
- 教程応用測量 千葉喜味夫著 山海堂 1981 512.01 C42
- 画でみる基礎設計のための知識—基礎・地盤編, 調査・判定編, 設計編— 三木幸蔵著 鹿島出版会 1982 513.1 Mi24
- 現代建築家 鈴木博之 石井和紘著 晶文社 1982 520.28 Su96
- 建築家の信条— 前川国男著 宮内嘉久編 晶文社 1981 520.4 Ma27
- 新規準・新指針による鋼構造の設計 佐藤邦昭著 改訂版 鹿島出版会 1977 524.6 Sa85
- 防音装置の設計 飯野香著 理工図書 1963 524.96 I27
- 寒地建築教材 図集編 日本建築学会北海道支部編 彰国社 1982 525.1 N77
- これだけは知っておきたい住宅の設計と施工の知識 高田秀三編著 鹿島出版会 1982 527.1 Ta28
- 木造住宅の実際知識—材料と施工— 内田京治著 泰流社 1980 527.1 U14
- ヨーロッパ・アメリカ新しい住宅建築技術 内田祥哉 松谷蒼一郎編 工業調査会 1982 527.1 U14
- 建築環境工学実験用教材 1, 2 日本建築学会編 (同編者) 1982
1. 環境測定演習編
2. 建築設備計測演習編 528.01 N77
- 建築技術者のための照明と電気設備 柳瀬駿著 全訂新版 理工図書 1977 528.4 Y56
- 家庭大工の百科—ホーム・コンサルタント— 石川松太郎 著 小学館 1976 592.7 I76
- 都市交通計画 佐佐木綱著 国民科学社 1974 681.8 Sa75

受入雑誌

(昭和58年4月～昭和58年6月現在)

- 愛知大学英文学会誌 *Poesis* 8—12：1978—1983+
- 愛知学院大学院法学研究科紀要 法研会論集 6—8：昭51—昭56+
- 〔同志社大学人文科学研究所〕研究所報 1—15：昭41—昭54, 17：昭56+
- 道都大学紀要 教養部 紋別 1：昭57+
- 〔福島大学東北経済研究所〕東北経済 74：昭58+
- 〔岐阜経済大学地域経済研究所〕地域経済 1—3：昭52—昭58+
- 広島大学経済論叢 (広島大学経済学会) 1—6 (1—21)：昭52—昭58+
- 〔広島大学〕政経論叢 (広島大学政経学会) 1—26 (1—107)：昭26—昭52 (うち欠; 通巻2, 31, 35—40, 54, 58, 60—61, 73—76)
総目次 1—26：昭26/11—昭52/3 (昭52年8月刊)
- 〔一橋大学〕言語文化 (一橋大学語学研究室) 19：1982+
- 〔北海道大学スラブ研究センター〕*Acta Slavica Iaponica* 1：1983+
- 〔北海道立旭川美術館〕氷華 2：昭58+
- 鹿児島女子大学 研究紀要 1—3：1980—1982+
- 金沢大学文学部論集 文学科篇 1—3：昭56—昭58+
- 金沢大学文学部論集 行動科学科篇 1：昭56, 3：昭58+
- 金沢大学文学部論集 史学科篇 1—3：昭56—昭58+
- 金沢経済大学論集 (金沢経済大学経済開発研究所) 1—16 (1—38)：昭42—昭58+
- 関西大学大学院 人間科学—社会学・心理学— (関西大学大学院社会学研究科院生協議会) 1—20：1972—1982+
- 〔関西学院大学〕人文論究 (関西学院大学人文学会) 32：昭57/昭58+
- 〔関西学院大学産業研究所〕産研論集 2：昭46, 6—11：昭51—昭58～+
- 慶応義塾大学 体育研究所紀要 22：昭57+
- 〔国学院大学大学院〕法研論叢 (国学院大学大学院法学研究会) 9—10：昭57—昭58+
- 〔国士館大学〕国士館法学会誌 1—15：1969—1983+
- 明治薬科大学研究紀要 人文科学・社会科学 6—12：1976—1982+
- 〔宮城学院女子大学〕生活科学研究所研究報告 14—15：1981—1982+
- 長崎大学教養部紀要 人文科学 1—4：昭36—昭39, 6：昭41, 9—23：昭43—昭58+
- 南山大学紀要 アカデミア 自然科学・保健体育編 (南山学会) 1：1983+
- 新潟大学教育学部紀要 人文社会科学編 24巻1号：昭58年3月+
- 新潟大学教育学部紀要 自然科学編 24巻1号：昭58年3月+
- 〔大阪大学文学部共同研究センター〕共同研究論集 1：昭57+
- 〔大阪女子大学〕社会福祉評論 (大阪女子大学社会福祉学科) 1—49：昭26—昭57+ (欠2, 8, 13, 15—16, 18, 20)
- 立正大学哲学・心理学会紀要 9：1983+
- 〔龍谷大学〕宗教法研究 (龍谷大学宗教法研究会) 1—4：昭54—昭58+
- 〔龍谷大学〕宗教法講座 (龍谷大学宗教法研究会) 7：1983+
- 成蹊大学文学部紀要 武蔵野市 1—18：1966—1982+
- 〔成蹊大学〕成蹊国文 (成蹊大学文学部日本文学科研究室) 1—16：昭43—昭57+
- 仙台大学紀要 仙台 2—14：1970—1982+
- 尚綱大学研究紀要 熊本 1—6：昭52—昭58+
- 創価大学平和問題研究所 創価平和研究 八王子 2—4：1981 (1981—1983刊)+
- 太陽エネルギー (日本太陽エネルギー学会) 6—9 (21—33)：昭55—昭58+

古典の窓 マルクス没後100年

資本主義経済が長期的世界不況の進展に呻吟している一方で、社会主義諸国ではポーランド問題に見られるような経済的政治的破綻が進み、さらに第三世界に目を転ずれば、債務累積問題に見られるような資本主義的工業化の破産及び中南米、アフリカ諸国を中心とする血みどろの解放闘争の展開というのが、マルクス没後百年を迎えた今日の世界の現状であろう。カール・マルクスは1818年5月5日にドイツに生まれ、1883年3月14日、亡命先のロンドンで64歳の生涯を閉じた。マルクス主義——マルクスの見解と学説との体系——は、次の三つの源泉から成ると言われる。「マルクスは、人類の三つのもっとも先進的な国に属する19世紀の三つの主要な思想的潮流の継承者であり、天才的な完成者であった。この潮流とは、ドイツの古典哲学、イギリスの古典経済学、および一般にフランスの革命的諸学説とむすびついたフランス社会主義である」(レーニン)。この継承、発展関係の問題はそれ自体重要なものであるが、ここでは触れない。マルクスの名著である『資本論』では、この古典派経済学の全面的批判を踏まえての新たな経済理論の体系が開示された。この著作の目的をマルクスは次のように述べて

ている。「この著作で私が研究しなければならないのは、資本主義的生産様式であり、これに対応する生産関係と交易関係である。その典型的な場所は、

今日までのところでは、イギリスである。」資本主義的發展が最も顕著に見られたイギリスをモデルにしながら、資本主義社会の経済的運動法則の理論的解明が行なわれたのである。この『資本論』自体はマルクス自身によっては第1巻しか完成されなかったが、後続の2巻は盟友エンゲルスによって編集刊行されている。そこにおいては資本主義社会の歴史性が明らかにされることになった。労働力の商品化を基礎に置く資本主義的生産においては等価交換の形式を取りながら、資本家による労働者の搾取が可能であり、労働生産力発展の成果は資本家階級によって独占されることが解明され、労働疎外論にも経済学的根拠を与えた。さらに、生産の無政府性が周期的な過剰生産恐慌を必然化させることを明確化した。これらの作業を通じて、プロレタリアートの世界史的任務と人類の前史としての資本主義社会から社会主義社会への移行の必然性を論証したのである。しかしマルクスの経済理論＝経済学批判体系は完成されたものではなく、複雑・錯綜せる現代資本主義像の解明の武器に役立てて行くための理論的営為がわれわれ後学の者に要請されているのである。

(ひらおか・けんじ 経済学部助教授)

『資本論』が要請するもの

平岡賢司

編集後記

- 天候不順続きの春からようやくぬけ出し盛夏はもうすぐ！学生諸君はバカンス、アルバイトetc.
- 予定がぎっしり。「VACATION」楽しいな、ルンレン」それも結構。しかし猛暑のなか図書館の片隅で振り八巻一寸絵になりませんか。きっと夏休み後の定期試験の備えはOK!!
- さて、しばらく休んでおりました「古典の窓」の復活、今年企画の「古典の窓」は、著名人4人の生誕を特集しております。今号は第二弾。第三弾目以降も諸先生に原稿をお願いしておりますのでご期待下さい。

北海学園大学附属図書館報

図書館だより

Vol.5 No.2

(通巻 86号)

北海学園大学附属図書館

一本 館一

〒064 札幌市豊平区旭町4丁目1番40号

電話(011)―841―1161(代表)

内線、総務係272 閲覧係274～275

図書係273

一工学部分室一

〒062 札幌市中央区南26条西11丁目

電話(011)―561―2911(内線)64